

内水被害防止のためポンプ車を稼働

台風12号による大雨で天神川水系国府川の水位が上昇し、排水樋門を通じて住宅地へ浸水被害が生じるのを防止するため、国府川を管理する国土交通省倉吉河川国道事務所では、逆流を防止するため樋門を閉めると共に、それによって生じる内水対策として排水ポンプ車の運転を行っています。

排水ポンプ車は不入岡排水樋門(倉吉市西福守町)で150m³/分、30m³/分の2台、輪王寺排水樋門(同市秋喜)で30m³/分1台で稼働すると共に和田救急内水排水機場(排水能力60m³/分×3台)のフル稼働と併せ浸水被害防止に努めています。



問 い 合 わ せ 先



国土交通省 中国地方整備局
倉吉河川国道事務所

副所長(河川)

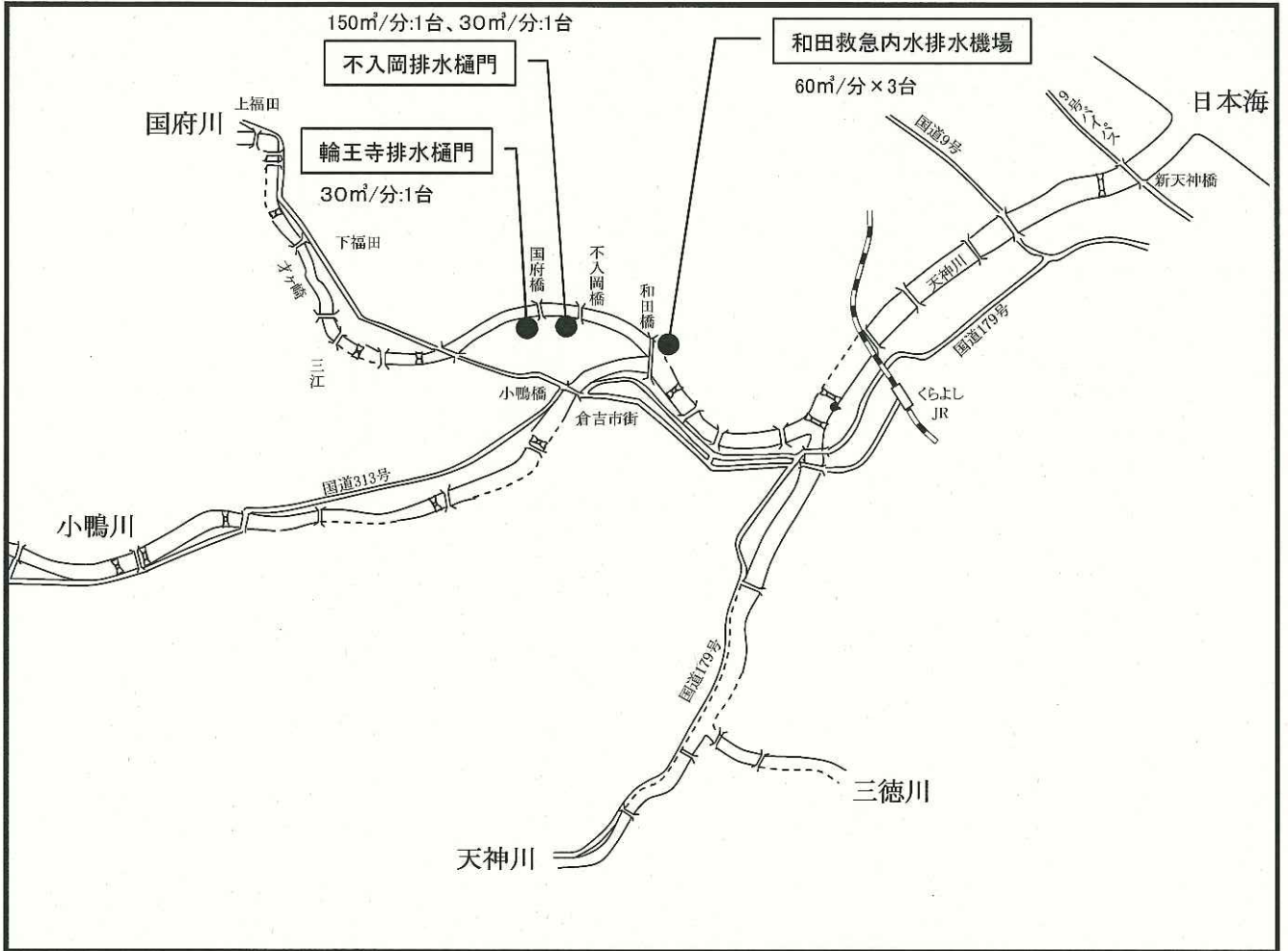
武部 真実(たけべ まさみ)

河川管理課長

川元 直樹(かわもと なおき)

TEL 0858-26-6221

平面図



西福守地区(工業団地付近)
ポンプ稼働前(10時30分頃)



ポンプ稼働後(15時頃)

